

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科等設置

注1

愛媛大学教育学部総合人間形成課程

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 愛媛大学  
平成21年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	経営企画部総務課
職名・氏名	法規チームリーダー 小 <sup>コ</sup> 玉 <sup>タマ</sup> 豊 <sup>トヨ</sup> 美 <sup>ミ</sup>
電話番号	089-927-9016
（夜間）	089-927-9016
F A X	089-927-9025
e-mail	houki@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	
(1)	設置者	1
(2)	大学名	1
(3)	大学の位置	1
(4)	調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
2	授業科目の概要	
(1)	授業科目表	4
(2)	授業科目数	1 2
(3)	未開講科目	1 3
(4)	廃止科目	1 3
(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び 「学生への周知方法」	1 3
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止 科目の計」の割合	1 3
3	既設大学等の状況	1 4
4	教員組織の状況	1 6
5	その他全般的事項	1 7

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 愛媛大学

## (2) 大学名

愛媛大学

## (3) 大学の位置

〒790-8577  
愛媛県松山市文京町3番  
(愛媛県松山市道後樋又10番13号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 総合人間形成 課程 学士(教育学)	4年	60人	- 年次 人	240人	

(4) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員		( - ) 60人	( - ) 60人	( - ) 人	( - ) 人	1.04倍	
志願者数		( - ) 206	( 7 ) 291	( )	( )		
受験者数		( - ) 157	( 7 ) 239	( )	( )		
合格者数		( - ) 70	( 1 ) 67	( )	( )		
B 入学者数		( - ) 65	( 1 ) 60	( )	( )		
入学定員超過率 B/A		( - ) 1.08	( - ) 1.00	( )	( )		

- (注) 1 ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次		[ - ] 65	[ 1 ] 61	[ ]	[ ]	
2年次		[ ]	[ - ] 66	[ ]	[ ]	
3年次		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計		[ - ] 65	[ 1 ] 127	[ ]	[ ]	

- (注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ - ] 0	計 [ - ] 65	[ - %] 0 %
	うち平成20年度入学者 0 人	うち平成20年度 65 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 1 ] 127	[ 0 %] 0 %
	うち平成20年度入学者 0 人	うち平成20年度 65 人	
	うち平成21年度入学者 0 人	うち平成21年度 62 人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
(主な退学理由)			
平成23年度	計 [ ]	計 [ ]	[ %] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

### <教育学部 総合人間形成課程>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次科目	新入生セミナー	1	2			○										
	コース初歩学習科目	1	2			○										
	こころと健康	1	2			○									教養科目区分からの移動(21)	
	スポーツ	1	2					○							教養科目区分からの移動(21)	
教養科目	地域と世界	1		2		○										
	生命を知る	1		2		○										
	人類と環境	1		2		○										
	こころの科学	+		2		⊖									教養科目区分の「こころの科学」、「生活と健康」、「みんなの医学」を集約して、初年次科目区分に移動のため削除(20)	
	生活と健康	+		2		⊖										
	みんなの医学	+		2		⊖										
	自然との共生	1・2		2		○										
	自然との共生 環境E S D 環境E S D演習	1・2 2・3		4 2		○		○								授業内容の充実を図るため、自然との共生を2つに枝分けて追加(21)
	農林水産業と自然→自然の恵みを考える	1・2		2		○										授業内容との整合性からよりふさわしい科目名に変更(21)
	科学リテラシー	1		2		○										新規科目として追加(21)
	接続可能な社会づくり (E S D)	1		2		○										教養科目「人類と環境」から授業内容の充実を図るため、枝分けて追加(21)
	対話と人間	1・2		2		○										
	倫理と生き方	1・2		2		○			1							
	歴史の多様性	1・2		2		○				1						
	ことばの世界	1・2		2		○										
	文学の世界	1・2		2		○			1	1						
	芸術の世界	1・2		2		○										
	異文化へのまなざし	1・2		2		○										
	こころのパリアフリー	1		2		○										
	スポーツⅠ→ <del>スポーツ</del>	+		+										⊖		授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更し、初年次科目区分へ移動のため削除(21)
	スポーツⅡ→スポーツと教育	1		1										○		授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21)
	スポーツⅢ→ライフスポーツ	2~4		1										○		授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(21)
	くらしと法律	1・2		2		○										
	日本国憲法	1・2		2		○										
	くらしと経済	1・2		2		○										
	くらしと政治	1・2		2		○										
	現代社会と教育	1・2		2		○				1						
現代社会の諸問題	1・2		2		○				1							
地域の活性化	2~3		2										○		授業の充実を図るために、新規科目名として追加(21)	
現代と科学技術	1・2		2		○			1								
情報と現代社会	1・2		2		○				1							
物質の世界	1・2		2		○											
自然の法則	1・2		2		○											
宇宙と地球	1・2		2		○											
教理と論理の世界	1・2		2		○											
生命の不思議	1・2		2		○			1								
知の最前線に学ぶ	1・2		1		○										授業の充実を図るために、新規科目名として追加(20)	
都市環境と自然	1・2		2		⊖										授業科目区分の科目に集約されたために科目名削除(21)	
自然災害	1・2		2		⊖										授業科目区分の科目に集約されたために科目名削除(21)	

共通教育科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	ドイツ語Ⅰ	1		2		○										
	ドイツ語Ⅱ	1		2		○										
	フランス語Ⅰ	1		2		○										
	フランス語Ⅱ	1		2		○										
	中国語Ⅰ	1		2		○										
	中国語Ⅱ	1		2		○										
	朝鮮語Ⅰ	1		2		○										
	朝鮮語Ⅱ	1		2		○										
	フィリピン語Ⅰ	1		2		○										
	フィリピン語Ⅱ	1		2		○										
	コミュニケーション英語A	1		2		○										
	コミュニケーション英語B	1		1		○				1						
	総合英語A	1		2		○										
	総合英語B	1		1		○										
	英語S 1	2~4		2		○										
	英語S 2	2~4		2		○										
	英語S 3	2~4		2		○										
	英語S 4	2~4		2		○										
	情報科学	1		2		○				1						
	微積分Ⅰ**	1		2		○										
	線形代数Ⅰ**	1		2		○				1						
	スポーツⅠ	+		+						4	2				教養科目と基礎科目に同じ科目名でカリキュラムが組まれていたが、今後は教養科目で一本化されることになったので削除(21)	
	スポーツⅡ	+		+						+	2					
	スポーツⅢ	2~4		+						+						
	ドイツ語Ⅰ*	+		2		○										
	ドイツ語Ⅱ*	+		2		○										
フランス語Ⅰ*	+		2		○											
フランス語Ⅱ*	+		2		○											
中国語Ⅰ*	+		2		○											
中国語Ⅱ*	+		2		○											
朝鮮語Ⅰ*	+		2		○											
朝鮮語Ⅱ*	+		2		○											
フィリピン語Ⅰ*	+		2		○											
フィリピン語Ⅱ*	+		2		○											
小計(59科目)		-	8	107	0		-		7	5						
<b>【国際理解教育コース】</b>																
課程共通必修・選択必修科目	生涯学習論	2	2			○									授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
	異文化理解概論→異文化間教育概論	2	2			○			1							
	日本語概説	1		2		○			1							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(選択科目から)(20)
	情報化と言語	2	2			○			+							アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
	社会情報論→現代社会とメディア	2		2		○				1						授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	公共性と世代生成	3		2		○										
	生活科学概論	1		2		○										
	人のくらしと自然	1		2		○				2						
	情報科学基礎	1		2		○										
	情報処理入門	1		2		○					1					
必修科目	国際理解教育論	2	2			○				1					アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(選択科目から)(20)	
	日本語教育概論	2	2			○										
	異文化間コミュニケーション演習	3	2				○								アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更(20)	
	アジア文化概論→中国古典概説	2	2			○				1						
	日本文化概論→日本文化情報	2→3	2			○				1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名変更と授業の充実に図るために配当年次を3に変更(20)
	国際理解教育の現状	3	2			○										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
	文化心理学概論	3		2		○										
	イギリス文化概論	2		2		○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース 選択科目 A	アメリカ文化概論	3		2		○											
	中国文化情報	3		2		○				1							
	英米事情	2		2		○				1							
	国際理解実践I (アジア圏) →海外体験学習 (アジア圏)	1~4		2			○									アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更(20)	
	国際理解実践II (英語圏) →海外体験学習 (英語圏)	1~4		2				○			1						〃
	国際理解実践III →漢字文化体験学習	1~4		2				○									〃
	日英語比較対照	→日英語比較論	2		2			○									アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更(20)
	日英語比較対照		3														
	アメリカ文学と言語	2		2			○										
	異文化とイギリス文学	2→3		2			○										授業内容の充実を図るために配当年次を1に変更(20)
	異文化と日本近代文学	1→2		2			○				1						授業内容の充実を図るために配当年次を2に変更(20)
	異文化と中国文化	2		2			○					1					
	漢字文化圏と書字論	1~4		2			⊖										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
	書写書道概説	2→3		2			○					1					授業内容の充実を図るために配当年次を3に変更(20)
	世界と日本古典文学演習 →アジアと日本古典文学演習	4→3		2				○									アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名変更と授業の充実を図るために配当年次を3に変更(20)
	世界と日本近代文学演習 →アジアと日本近代文学演習	4→3		2				○									〃
	世界と中国文化演習 →アジアと中国文化演習	4		2				○									アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更(20)
	日本語教授法	2		2			○										
	日本語教育実践	3		2					○								
	教育社会心理学	2		2			○										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)
	教育制度論	1		2			○										〃
	教育本質論	2		2			○										〃
	日本語教育概論	2		2			⊖										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、課程共通必修科目へ移動(20)
	異文化と日本語	3		2			⊖										アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
	日本語概説	4		2			⊖				4						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、課程共通必修科目へ移動(20)
	日本語研究	1		2			○				1						
	日本語と日本事情	2		2			○				1						
	世界の中の日本語演習	4→3		2				○									授業内容の充実を図るために配当年次を3に変更
	日本古典文学概説	1		2			○				1						
	日本近代文学概説	1		2			○				1						
	日本芸能史	2		2			○				1						
	国語教育研究 I	3		2			○				1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)
	国語教育研究 II	4		2			○				1						〃
	国語教育演習 I	4		2			○				1						〃
国語教育演習 II	4		2			○				1						〃	
英語コミュニケーション演習 I	1		2				○				1						
英語コミュニケーション演習 II	1		2				○				1						
英語コミュニケーション演習 III	2		2				○				1						
英語コミュニケーション演習 IV	2		2				○				1						
英語リテラシー演習	1		2				○				1						
英作文 I	3		2				○				1					アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)	
英作文 II	3		2				○				1					〃	
英語学	2		2				○				1					〃	
情報伝達演習 I	3		2				⊖				4					アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)	
情報伝達演習 II	3		2				⊖				4					〃	



科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース 選択科目B	コンピュータとコミュニケーション演習Ⅰ・コンピュータとコミュニケーション演習Ⅱ→コンピュータと国際コミュニケーション	1 2		2			○		1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目名を変更(20)
	人文科学英語講読	2		2			○			1					
	教職基礎論	1		2			○		1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)
	生徒指導論	2		2			○		1						〃
	道徳教育指導論	2		2			○		1						〃
	教育相談論	2		2			○			1					〃
	教育課程論	3		1			○								〃
	特別活動論	3		1			○								〃
	教育方法論	3		1			○								〃
	総合演習	3		2				○							〃
小計(64科目)		-	14	111	0		-		5	2					
<b>【人間社会デザインコース】</b>															
課程 共通 必修・ 選択 必修 科目	生涯学習論	2	2				○								
	異文化理解概論→異文化間教育概論	2		2			○		1						授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	日本語概説	1		2			○		1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)
	情報化と言語	2		2			⊖		4						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
	社会情報論→現代社会とメディア	2	2				○			3					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	公共性と世代生成	3	2				○		1						
	生活科学概論	1		2			○								
	人のくらしと自然	1		2			○								
	情報科学基礎	1		2			○								
	情報処理入門	1		2			○			1					
必修 科目	文献講読基礎	1	2				○			1					
	ディベート	2	2				○		1						
	資料論	2	2				○		1						
選択 必修 科目 A	地域デザインフォーラム	1~3		10				○		1					
	福祉デザインフォーラム	1~3		10				○		1					
	平和デザインフォーラム	1~3		10				○		1					
コース 選択 必修 科目 B	日本史における地域社会	2		2			○		1						
	ヨーロッパ女性史	3		2			○								
	アジア史における戦争と平和	2		2			○			1					
	環境地理学	3		2			○								
	地域学入門	1		2			○		1						
	福祉社会学	2		2			○			1					
	希望の経済学	2		2			○		1						
	戦争体験論→戦争の政治学	2		2			○								授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	市民教育論→市民と政治	2		2			○			1					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	キャリアデザイン論Ⅰ	2		2			○								
	キャリアデザイン論Ⅱ	2		2			○		2	1					
	日本史における戦争と平和	3		2			○								
	ヨーロッパ形成史	3		2			○								
	中東歴史事情	4		2			○								
	地域地理学(日本)	3		2			○								
	地域地理学(世界)	3		2			○								
	国際福祉・開発論	4		2			○								
	経済思想	4		2			○								
	共生の倫理学	3		2			○								
	日本史Ⅰ	2		2			○		1						
	日本史Ⅲ	3		2			○		1						
	日本史特講	3		2			⊖								アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース選択科目	外国史Ⅰ	2		2		○				1						
	外国史Ⅲ	4		2		○				1						
	外国史Ⅳ	1		2		○				1						
	外国史Ⅴ	3		2		○				1						
	地理学概説(地誌を含む)	1		2		○			1							
	人文地理Ⅰ	2		2		○			1							
	人文地理Ⅱ	4		2		○			1							
	自然地理Ⅰ	1		2		○				1						
	自然地理Ⅱ	3		2		○				1						
	地理学野外実験	1~4		8				○	1	1						
	法学Ⅰ(国際法を含む)	2		2		○										授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	政治学Ⅰ(国際政治を含む)	1		2		○										授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
	社会学Ⅰ	2		2		○				1						
	社会学Ⅱ	3		2		○				1						
	社会学野外実験	1~4		8				○		1						
	経済学Ⅰ→経済学(特)(国際経済を含む)	1→2		2		○			1							授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名と授業の充実を図るために配当年次を2に変更(21)
	経済学Ⅱ	3		2		○			1							
	哲学Ⅰ	2		2		○			1							
	哲学Ⅱ	3		2		○										
	倫理学Ⅰ	1		2		○			1							
小計(56科目)	-		12	136	0		-	3	3							
<b>【生活環境コース】</b>																
専門科目	課程共通必修・選択	生涯学習論	2	2			○									授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
		異文化理解概論→異文化間教育概論	2		2		○			1						
		日本語概説	1		2		○			1						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を追加(20)
		情報化と言語	2		2		○			4						アドミッションポリシーとの整合性の理由により、科目を廃止(20)
		社会情報論→現代社会とメディア	2		2		○				3					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)
		公共性と世代生成	3		2		○									
		生活科学概論	1	2			○					1				
		人のくらしと自然	1	2			○			2		1				
		情報科学基礎	1		2		○					1				
		情報処理入門	1		2		○									
	必修・選択必修科目	人間生活原論	1	2			○				1					
		地球環境と生態系	2	2			○									
		水循環と生活環境	1		2		○			2	2					
		環境教育学概論	2		2		○				1					
		環境物質科学	2		2		○				1					
		生活環境基礎実験・実習	1	2					○	3	4	2				
		生活環境科学演習	3	2					○							
		保育学	2		2		○				1					
		人間と科学・環境	2		2		○				1					
		生活主体の形成と環境	3		2		○				1					
家族関係学	3		2		○					1						
環境と社会問題	3		2		○											
生活環境と安全	3		2		○											
子ども・家族福祉	3		2		○				1							
環境教育実践演習	2		2				○		1							
衣生活論	2		2		○											
住居学	2		2		○			1								
食生活の安全と健康	3		2		○				1							
子ども・環境・まちづくり	3		2		○			1								
ゴミと資源・エネルギー	3		2		○											
消費者教育論	3		2		○										新任教員によるコースカリキュラム充実のために追加(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
択科目A	食教育論	3		2		○									当初「生活科学実験」(2年次2単位)にしていたが、授業時間割、担当教員の制約等から「生活科学実験Ⅰ」(2年次1単位)及び「生活科学実験Ⅱ」(2年次1単位)の2つの科目に分類(20)
	先端科学と生活	3		2		○					1				
	バリアフリーの環境	3		2		○									
	生活科学実験→生活科学実験Ⅰ	2		1							1				
	→生活科学実験Ⅱ	2		1						1					
	住居計画演習	2		2			○		1						
	食品学演習	3		2			○			1					
	環境の指標生物	2		2		○			1						
	自然災害論	2		2		○			1						
	応用物理学概論	2		2		○				1					
	生活と生命科学	3		2		○									
	環境分析化学	3		2		○									
	環境と生物	3		2		○									
	古環境論	3		2		○			1						
	自然環境科学実験	3		2				○							
自然環境科学演習	3		2			○									
課題研究Ⅰ	4		2			○		2	2						
課題研究Ⅱ	4		2			○		2	2						
選科目B	被服学	1		2		○								授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
	食物学	1		2		○			1						
	家庭経営学	2		2		○				1					
	住生活論	3		2		○									
	生活工学	3		2		○									
	調理学・食品加工貯蔵学Ⅰ→調理加工学及び実験実習Ⅰ	1		2				○		1					
	調理学・食品加工貯蔵学Ⅱ→調理加工学及び実習Ⅱ	2		2				○		1					
	被服構成学及び実習	2		2		○		○			1				
	物理学Ⅰ	2		2		○				1					
	物理学Ⅱ	2		2		○					1				
	無機化学	2		2		○									
	有機化学	3		2		○				1					
	生物学Ⅰ	1		2		○			1						
	生物学Ⅱ	2		2		○			1						
	地球科学	1		2		○		○	1						
	天文学及び気象学	2		2		○			1						
	教材生物実習	2		2				○	2						
	理科実験Ⅰ	1		1				○	3						
理科実験Ⅱ	1		1				○		1						
理科実験Ⅲ	2		1				○		1	1					
理科実験Ⅳ	2		1				○	2							
小計(69科目)	-		14	118	0	-	-	3	4	2					
<b>【情報教育コース】</b>															
課程共通必修・選択必修科目	生涯学習論	2	2			○								授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
	異文化理解概論→異文化間教育概論	2		2		○			1						
	日本語概説	1		2		○			1						
	情報化と言語	2		2		○			1						
	社会情報論→現代社会とメディア	2		2		○				3					
	公共性と世代生成	3		2		○									
	生活科学概論	1		2		○									
	人のくらしと自然	1		2		○			2						
	情報科学基礎	1	2			○									
	情報処理入門	1	2			○				1					
必修	科学技術と教育	2	2			○			1					授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)	
	教科教育法Ⅰ(情報)→情報科教育法Ⅰ	2	2			○									
	教科教育法Ⅱ(情報)→情報科教育法Ⅱ	3	2			○									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
・選択必修科目	情報リテラシー	1		2		○									授業内容の充実を図るために配当年次を2に変更(20)	
	実践教育と情報技術	1→2		2		○			1							
	情報と職業	3		2		○										
	情報教育英語	3		2		○										アドミッションポリシーとの整合性と「コンピュータと国際コミュニケーション」で代替え措置ができるため、科目を廃止(20)
	プロジェクト研究I	3	2				○		1	2						
	プロジェクト研究II	3	2				○		1	2						
選択科目A	情報理論入門	1		2		○			1						カリキュラム見直しの結果、H21年度より配当年次を3・4に変更(21)	
	線形計画法	2→3・4		2		○										
	オペレーションズリサーチ	3・4		2		○										
	符号理論	3		2		○										
	確率論	2		2		○			1							
	数値計算法	3		2		○										
	ハードウェア概論	2→2・3		2		○				1					担当教員の体調不良のため、H21年度入学生のみ一時的に配当年次を2・3に変更(21)	
	ハードウェア実践	2・3 →3・4		2		○									担当教員の体調不良のため、H21年度入学生のみ一時的に配当年次を3・4に変更(21)	
	コンピュータシステム	2		2		○				1						
	オペレーティングシステム	3		2		○										
	計測・制御概論	3・4		2		○				1						
	情報ネットワーク	3		2		○				1						
	Web情報システム	3		2		○										
	プログラミング言語I	2→1		2		○									授業内容の充実を図るため、配当年次を1に変更(21)	
	プログラミング言語II	2		2		○			1							
	プログラミング実践	2		2		○			1							
	データ構造とアルゴリズム	2		2		○			1							
	認知科学	3→3・4		2		○									隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21)	
	人工知能の基礎	3		2		○										
	人工知能の応用	4→3・4		2		○									隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21)	
	メディア基礎I	3→2		2		○									メディア基礎IIが配当年次3・4の隔年開講になったため、配当年次を2に変更(21)	
	メディア基礎II	3→3・4		2		○									隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21)	
	コンピュータグラフィックス	3・4		2		○										
	データベース論	3		2		○										
	論理と情報検索	3・4		2		○										
	データベース演習	3		1			○									
	メディア基礎演習	3→3・4		1			○								隔年開講になったため、配当年次を3・4に変更(21)	
	プログラミング演習	2→1		1			○				2				授業内容の充実を図るため配当年次を1に変更(21)	
	情報ネットワーク演習	3		1			○									
	情報数学概論	2		2		○				1						
情報数学	4		2		○				1							
代数学概論	1		2		○				1							
幾何学概論	1		2		○				1							
解析学概論	2		2		○				1							
情報基礎I→情報とコンピュータI	1		2		○					1				授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更(20)		
情報基礎II→情報とコンピュータII	1→2		2		○									授業内容との整合性からよりふさわしい授業科目名に変更と授業の充実を図るために配当年次を2年次に変更(20)		
コンピュータ演習	2		2			○				1						
電気・電子工学I	2		2		○					1				担当教員の体調不良により、H21年度は一時的に未開講(集中講義予定)(21)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
選択科目B	電気・電子工学II	2		2		○				1					担当教員の体調不良により、H20年度入学生のみ配当年次を3に変更(20)	
	電気・電子工学演習	2→3		2			○			1					技術教育のカリキュラム変更のため、H20年度より、配当年次を3に変更(20)	
	木材加工法 I	1		2		○			1							
	金属加工法 I	1		2		○			1							
	機械工学 I	2		2		○										
	栽培技術学	1・2 →1~3		2		○										教育内容充実を図るため、配当年次を1~3に変更(21)
	デザイン概論	1		2		○			1							
	地域学入門	1		2		○			1							
	市民教育論	2		2		⊖				+						人間社会デザインコースで受講できるため、本科目を削除(20)
	共生の倫理学	3		2		○										
	国際理解実践II	1~4		2		⊖										国際理解教育コースで受講できるため、本科目を削除(20)
	国際理解教育の現状	3		2		⊖				+						国際理解教育コースで受講できるため、本科目を削除(20)
	先端科学と生活	2→3		2		○				1						授業内容の充実を図るため配当年次を3に変更(21)
	自然災害論	2		2		○										
小計 (66科目)	-	14	114	0		-		2	3							
インターンシップ事前指導	1~4		2		○											
インターンシップ	1~4		2				○									
卒業研究(演習)	4	4														
合計 (314科目)	-	66	590	0		-		12	11	2						

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 29	科目 287	科目 0	科目 316	科目 31 [ 2 ]	科目 283 [ Δ 4 ]	科目 0 [ ]	科目 314 [ Δ 2 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	電気・電子工学 I	2	2	専門	選択	担当教員の体調不良により, 平成21年度は一時的に未開講(集中講義を予定)
2	電気・電子工学 II	2	2	専門	選択	担当教員の体調不良により, 平成20年度入学生のみ配当年次を3年次に変更

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	情報化と言語	2	2	専門	必修	アドミッションポリシーとの整合性の理由により廃止(国際理解コースの新設科目を追記して代替措置)
2	国際理解教育の現状	2	3	専門	選択	〃
3	漢字文化圏と書字論	2	1~4	専門	選択	〃
4	異文化と日本語	2	3	専門	選択	〃
5	情報伝達演習 I	2	3	専門	選択	〃
6	情報伝達演習 II	2	3	専門	選択	〃
7	日本史特講	2	3	専門	選択	〃
8	情報教育英語	2	3	専門	選択	〃

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ディプロマ・ポリシー, アドミッション・ポリシー, カリキュラム・ポリシーの一貫性を整備するという大学全体の方針に従って, 教育学部としても, 再度アドミッション・ポリシーの見直しを行った。その過程で, 各課程・各コースのアドミッション・ポリシーが検討され, 若干の授業科目が削除されたり追加されたりした。なお, 学生には, 「履修の手引」や各学期ごとのガイダンス等を通じて周知している。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)  
 3 「(3) 未開講科目」は, 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は, 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
法文学部 総合政策学科						1.07		愛媛県松山市 文京町3番
(昼間主コース)	4	270	3年次10	1070	学士(総合政策)	1.06	平8	
総合政策学科					学士(法学)			
(夜間主コース)	4	60	3年次20	360	学士(経済学)	1.07	平8	
人文学科					学士(人文)			
(昼間主コース)	4	125	-	470		1.10	平8	
人文学科								
(夜間主コース)	4	50	3年次20	220		1.11	平8	
教育学部								
学校教育教員養成課程	4	100	-	400	学士(教育学)	1.09		愛媛県松山市 文京町3番
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	40		1.10	平11	
総合人間形成課程	4	60	-	120		1.10	平20	
スポーツ健康科学課程	4	20	-	40		1.04	平20	
芸術文化課程	4	20	-	100		1.10	平20	
障害児教育教員養成課程	4	-	-	-		1.07	平11	
生活健康課程	4	-	-	-		-	-	平成20年度より学生募集停止
情報文化課程	4	-	-	-		-	-	
理学部								
数学科	4	50	-	200	学士(理学)	1.06		愛媛県松山市 文京町2番5番
物理学科	4	50	-	200		1.12	平17	
化学科	4	52	-	208		1.08	平17	
生物学科	4	43	-	172		1.04	平17	
地球科学科	4	30	-	120		1.09	平17	
地球科学科						0.96	平17	
医学部								
医学科	6	100	3年次5	570	学士(医学)	1.01		愛媛県東温市志津川
看護学科	4	60	3年次10	260	学士(看護学)	1.00	昭48	
看護学科						1.02	平6	
工学部								
機械工学科	4	90		360	学士(工学)	1.05		愛媛県松山市 文京町3番
電気電子工学科	4	80		320		1.04	平3	
電気電子工学科						1.03	平3	



環境建設工学科	4	90		360		1.06	平8	
機能材料工学科	4	70		280		1.06	平8	
応用化学科	4	90		360		1.05	平3	
情報工学科	4	80		320		1.05	平3	
			学科共通3年次10	20				
農学部					学士(農学)	1.10		
生物資源学科	4	170	3年次10	700		1.10	昭63	愛媛県松山市樽味3丁目5番7号

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学部 総合人間形成課程>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	10	1		25		12	11	2		25		
( 14 )	( 10 )	( 1 )	( )	( 25 )	( )	[△2]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]	[ ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 (記入例：1名減の場合：△1)

## 5 その他全般的事項

<教育学部 総合人間形成課程>

情報提供に関する事項

### ① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 2009 年 6 月 1 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク  
(  承諾 する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.ehime-u.ac.jp/information/open/legal/index.html>)

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 2009 年 8 月 1 日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾 する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.ehime-u.ac.jp/information/open/legal/index.html>)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。